

立命館経済學

第十六卷 第二号

昭和四十二年六月

内 容

論 説

- 金融資本における信用と国家……………小 牧 聖 徳 1
社会主義的分配関係の本質について(二)……………小 野 一 郎 41

資 料

- フレット・エルスナー「独占価格と独占利潤」…………… 74
キム・スンジュン「農地改革」後の南朝鮮農業政策…………… 108
——『南朝鮮における農地改革』(統)——

書 評

- 今堀誠二著『毛沢東研究序説』……………松 野 昭 二 142
共同研究室…………… 156

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十五卷・第五・六号

論説

法人課税の発展史的考察(上)……………加藤 睦 夫
資本自由化と中小企業……………武藤 守 一
社会主義的分配関係の本質に
ついて(一)……………小野 一 郎

A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミル

における租税理論の展開 IV……………箕浦 格 良

——古典学派における財政思想(13)——

資料

工業都市の市民所得……………建林 正 喜

学界動向・共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第十六卷・第一号

論説

戦後炭鉱労働運動の展開過程(上)……………戸木 田 嘉 久
A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミル

における租税理論の展開 V……………箕浦 格 良

——古典学派における財政思想(14)——

資料

商業都市の市民所得……………建林 正 喜

書評

内田義彦『資本論の世界』……………岡崎 栄 松

学界動向・共同研究室

発行所 立命館大学経済学会